

令和4年度 自己評価・学校関係評価報告書

(学)AppreSeed 学院 日野ふたば幼稚園

1. 本園の教育目標

好ましい環境の中で 子どもの安全を守り 個性を尊重し

たくましい体 明るく素直で意欲ある生活態度 創造性豊かな情操を育て 可能性の開発につとめる

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

ひとり一人の幼児を大切にした質の高い教育の実践を目指す

様々な活動を通して幼児の興味関心を高め、豊かな心と健康な体を育てる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育への在り方	B	健康安全への配慮をはじめ、幼児と教師の信頼関係をよく築きながら保育することができた。
2	幼児への対応	B	ひとり一人の幼児に寄り添い、丁寧な対応ができた
3	特別指導の対応	B	講師との連携を良く図り、幼児への指導が十分に出来た。プール、体操など幼児の意欲を高め、質の高い活動を行うことができた。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	ひとり一人の幼児を大切にした保育教育に取り組むことが出来た。 様々な活動を通して、ひとり一人の個性を大事にし、それぞれの発達や特性を考慮しながら発達、成長を促すことが出来ていた。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境	園庭や園舎内の環境について話し合い、幼児の園生活が充実するよう、幼児の発達に沿った環境の構成に取り組む
2	安全管理	緊急事態に備えて、危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る
3	幼少接続	教職員間で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有しながら保育を行い、教育内容の中で子どもの姿を捉えて理解し、小学校接続へ繋げる

6. 学校関係評価委員会の評価

コロナ禍に健康安全に配慮して、子どもたちの環境を整えている様子がみられた。また、様々な活動を行うことで、幼児の生活が充実し、自立心、達成感や協働性など幼児の成長に繋がっている。幼児ひとり一人としっかり関わる教職員の姿も好ましい。今後も安全安心に過ごせる環境を提供してほしい。